

開創2周年記念法会 開催

2014年（H26）12月2日（火）10時から円光寺で始まった法会には200名を越える方々が参加されました。幸せ祈願法会に「今年の嫌なことみんな忘れました」とおっしゃる方も。観音寺の岩鶴住職による法話では「津の良い処」について話されました。1500名を越えた巡拝者。2015年も七福をいただいて元気な年にしたいものです。



■布袋和尚縁起

三重大学人文学部教授 片倉 望

七福神の起源として中国の「竹林の七賢」を挙げる者がいる。確かに「七」という数字は同じであり「竹林七賢図」の流行が縁起物としての七福神の図を誘発したことは首肯されてよい事実であろう。とは言え、その性格の違いはあまりにも大きい。かたや中国六朝時代に実在した七人の賢者であり、かたや七柱の神様である。しかもその神々は実に多様性に富んでいて、インド起源のヒンドゥー教の神（大黒天・毘沙門天・弁財天）から中国起源の道教の神（福祿寿・寿老神）さらには日本の恵比寿さままで、節操が無いほどに様々な宗教の諸神が混交している。もっとも、仏教伝来の歴史を緋けばこのような不思議もそれなりに納得できる性格のものとなる。すなわち、インドのタントリズムの系譜を引く密教が六朝時代の中国でかなりの広がりをもって受容され、多くの共通点を

持つ道教の諸神を内に取り込んだ後に日本に伝来したと理解すればよいのである。

しかしながら、なおかつ不可解な存在が布袋和尚という人物である。そもそも布袋さんは「宋高僧伝」に記載されている唐の時代の実在の僧侶であり神様ではない。確かに、その経歴は神秘に満ちていて、埋葬された後にひょっこり歩いているのを目撃されるあたりは、一度は人として死に、やがて死体から脱皮して仙人になるという尸解仙（しかいせん）のそれに近いが尸解仙は仙人のクラスでは下等であり、葛洪（かつこう）の著した「抱朴子」には枚挙に暇が無いほどの尸解仙の名が記されている。その上、当の葛洪でさえ死後には尸解仙となったと伝えられているほどであって、布袋さんだけに特徴的な逸話ではない。また布袋を弥勒菩薩の化身とする伝承もあるが、高僧の多くは何某かの神格の権化とされるのが通常であって、これもまた特別なものではない。

では、なぜ布袋和尚が七福神の中に編入されたのであろうか。それは恐らく没後ほどなくして描かれ流布したと伝えられる、あの豊満な図像のせいであろう。痩せた福の神にご利益を期待する者は稀である。なぜなら貧しい庶民にとって幸福とは腹一杯飯を食うことに他ならないからである。布袋腹とは、まさしくその庶民の幸福の象徴なのであり、恵比寿・大黒のふくよかな姿も同様の意味を持つ。その上、名前がまたいい、もとより布袋は本名ではなく、決まった居所を持たず袋を背負って放浪していたことから呼ばれた通称であるが、洋の東西を問わず、布袋（ぬのぶくろ）がプレゼントの入れ物であることはサンタクロースがその証左であろう。そして、子供の心をわくわくさせる秘密がその袋には確かに潜んでいるのである。

私が幼少の頃を過ごした家の庭には布袋さんの立像が据えられていた。後に祖母から聞いた

た話では、大正時代に東京美術学校の先生が祖父のために塑像してくれたものでもともと床の間の置物あったが、戦災で焼かれて台座を含めた足の部分が焼失したため、庭石にコンクリートで埋め込んで立てたものだということであった。そうとは知らない子供の頃の私は、てっきりご利益のあるお地蔵さんの類だと信じ込み、毎朝、一礼してから学校に出かけていったものである。そのご利益があつてか、ここ数年、健康診断の度にウルトラメタボの判定に悩まされている私にとって、なぜ我が家の庭に精悍な毘沙門天や妖艶な弁天さまの立像が飾られていなかったのか、今となつてはそれが悔やまれてならない。



■ 2014年11月22日1500人目の巡拝者。
西本恵子、理奈子さん親子（度会郡南伊勢町）
インターネットで七福神を探し当て巡拝。早速、友の会の会員に！

ごあいさつ

友の会へご入会いただき有難うございました。会員証を同封いたします。お陰様で開創3周年目に入りました。友の会の皆様にご協力頂きまい進したいと思っております

会費 : 1,000円/年間
金融機関 : 郵便局
郵便振替口座 : 00820-8-123136
口座名義 : 伊勢の津七福神友の会

《伊勢の津七福神友の会事務局》
〒514-0033 津市丸之内 27-16 高山神社内
電話 : 059-225-8558

★情報誌「つうぴ〜す」1月号に特集として掲載されてから半月で100名を超える方が巡拝されました。皆様に七福神のご加護がありますようにと願っています。

★今後の行事予定

- ・ 2月3日（火）観音寺 鬼押さえ節分会
※街の駅だいもん 14時～観音さんのご朱印のある巡拝色紙でストラップを進呈
- ・ 3月8日（日）11時 結城神社 観梅祈願祭



■伊勢の津七福神 友の会特典（会員証をお見せください）

- ・ うなぎのつたや 100円引き 059-228-3005
- ・ 榊原館 日帰り入浴 お茶進呈 059-252-0206
- ・ 谷石材 花筒5%引き 0595-21-2148
- ・ 大寿司 アイスクリームなどデザートサービス 059-234-5129
- ・ はま作 和菓子サービス 059-228-3088
- ・ 松菱 7階彦兵衛ランチ700円以上 コーヒー1杯サービス 059-228-6082
- ・ 都ホテル内 日本料理「浜千鳥」食事の際、10%割引 059-229-2255
- ・ ホテル三徳 宿泊客にコーヒ一杯サービス 059-223-3109
- ・ 伊勢門本店 ランチ以上に自家製プリンサービス 059-221-5777
- ・ お菓子處とらや本家 1000円以上お買い上げでポイント5倍押し 059-228-4802
- ・ Paradox（パラドックス 津市大門6-9）アイスクリームサービス 059-264-7877

